



**2009年12月期  
第3四半期（1～9月）  
決算概要**

**2009年10月29日**

**株式会社 大塚商会**

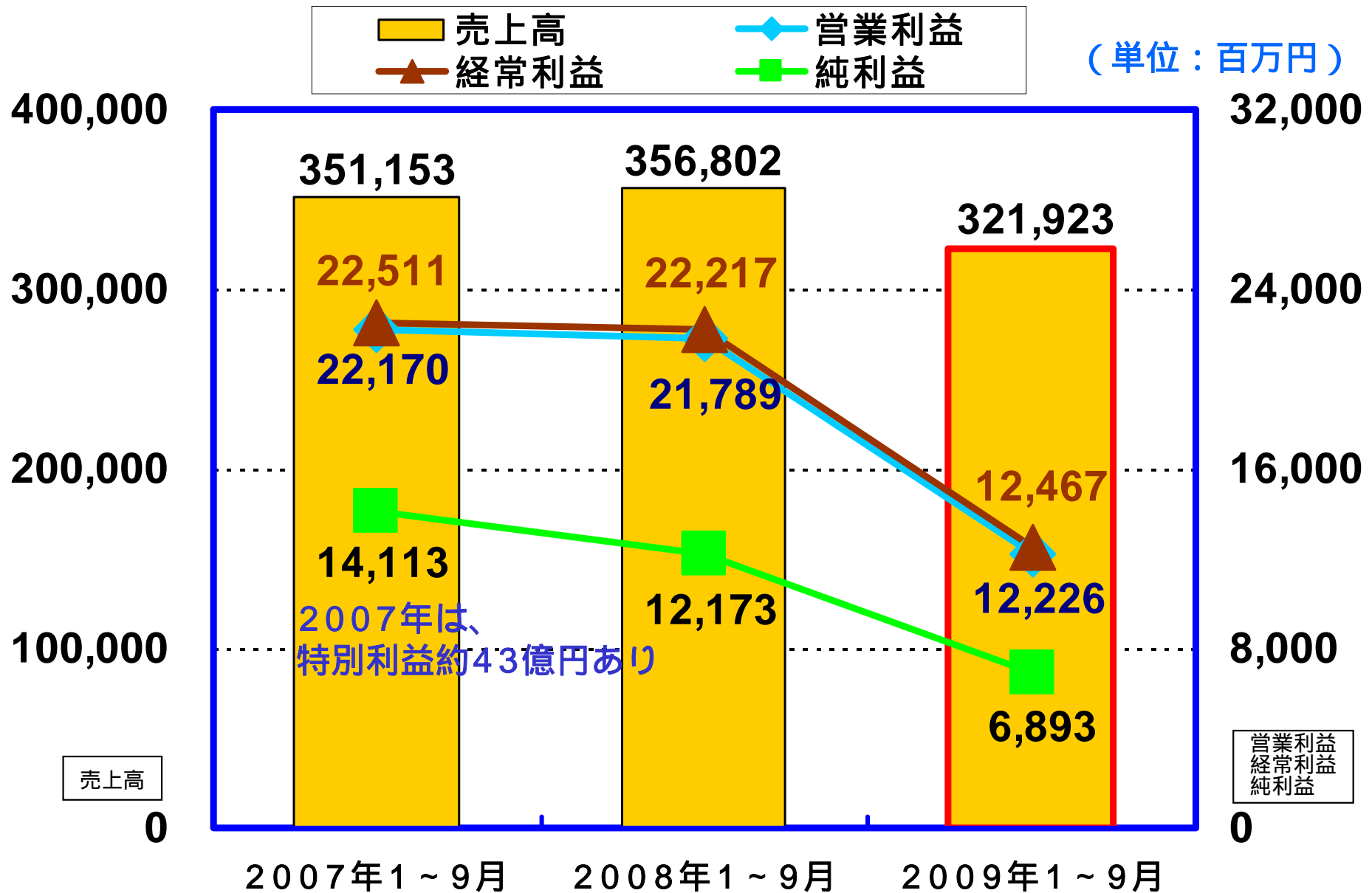
# 2009年1～9月 業績の概況

(単位：百万円)

	連 結		単 体	
	金 額	増減率	金 額	増減率
売 上 高	321,923	-9.8%	301,504	-9.7%
営 業 利 益	12,226	-43.9%	11,036	-45.8%
経 常 利 益	12,467	-43.9%	11,568	-44.8%
純 利 益	6,893	-43.4%	6,609	-43.2%

連結

# 売上高・利益の状況



# 外部環境

景気は回復期に入り始めたが、依然厳しい状況

輸出・生産は持ち直すも、内需低迷で回復力弱い

一部では景況感好転し、企業倒産も良化傾向

中堅・中小企業は依然厳しい状況

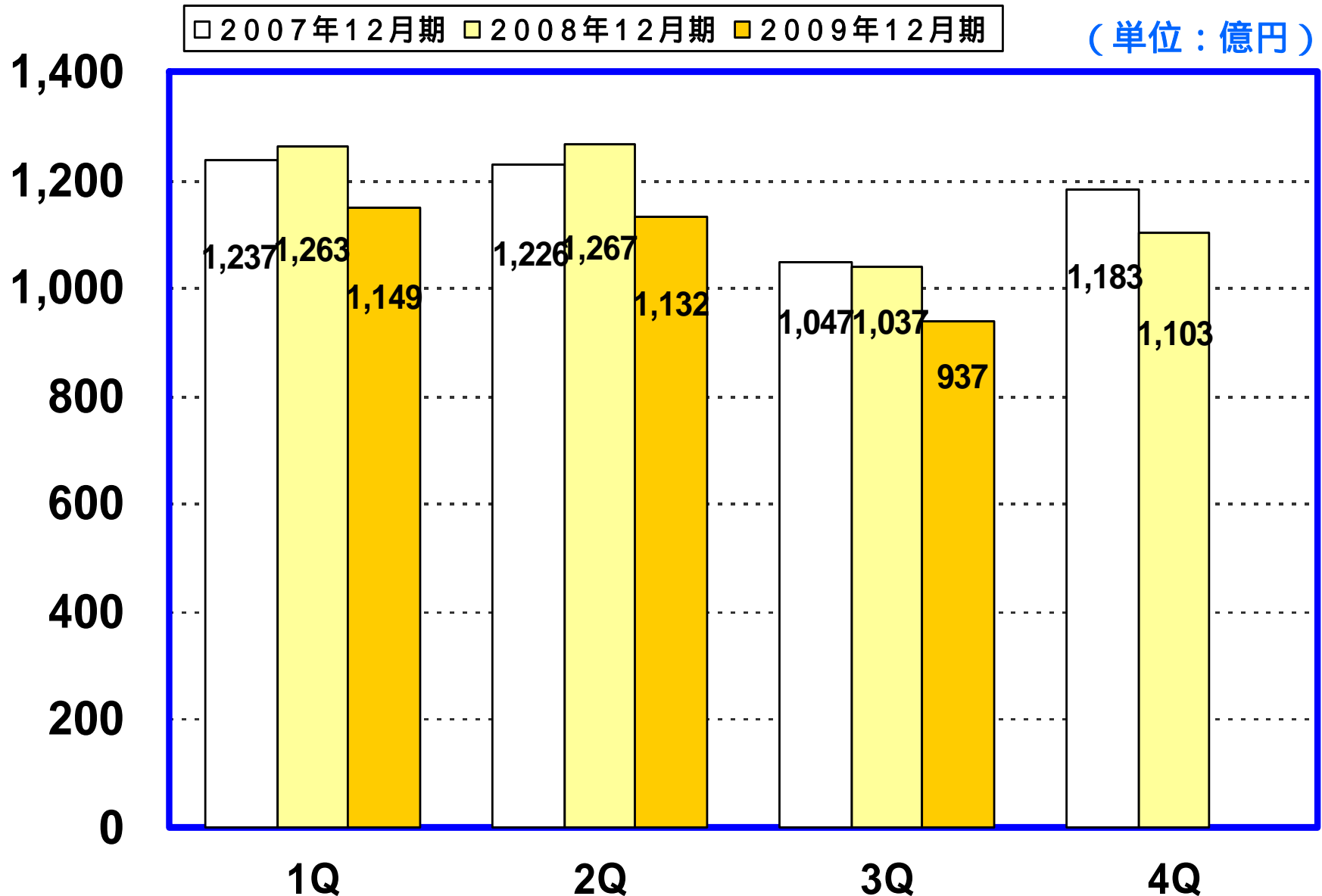
企業は設備投資抑制を継続

IT活用ニーズはあるが、IT投資抑制を継続

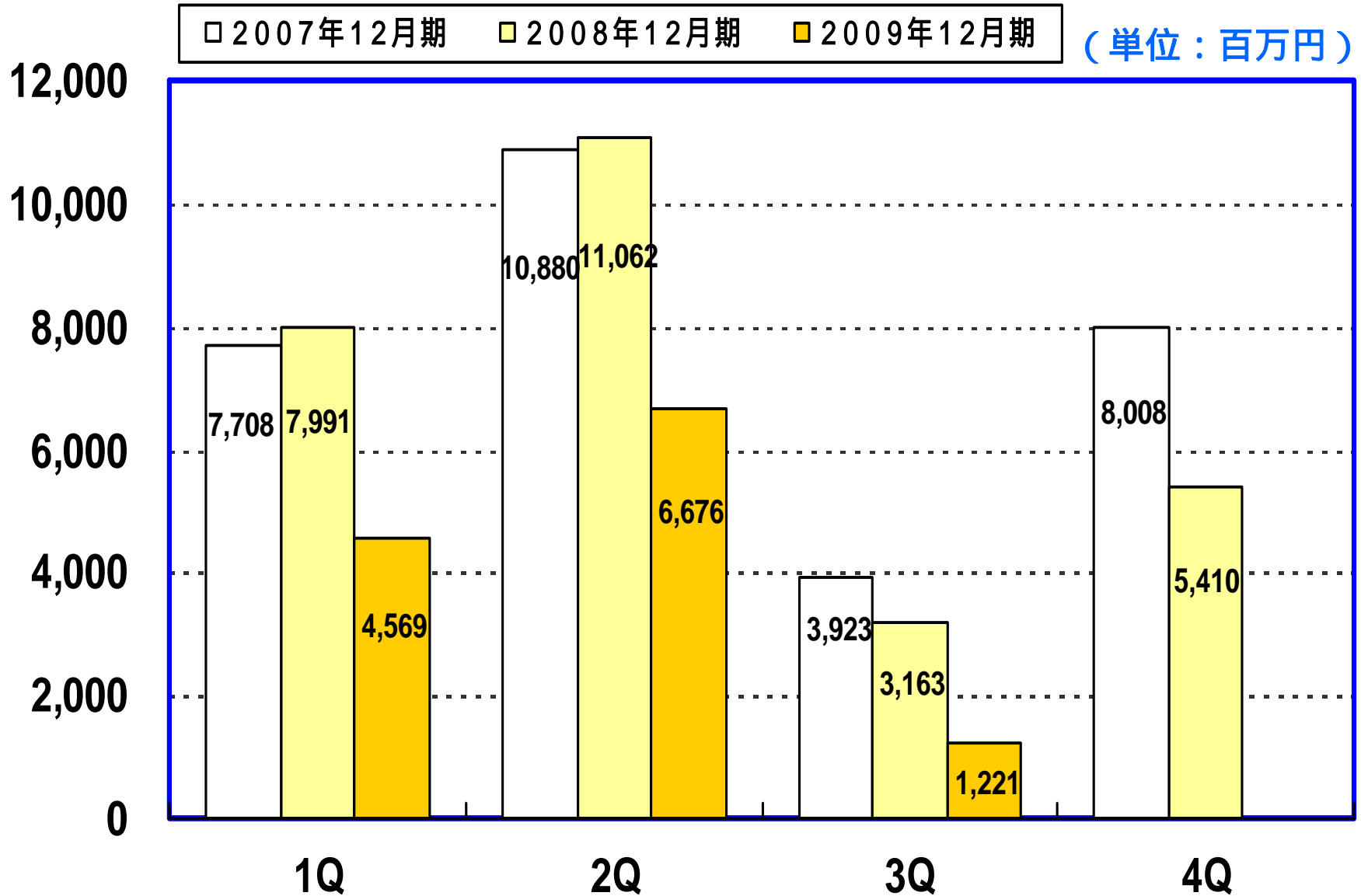
# 当社グループの取り組み

- コスト削減、生産性向上、競争力強化に繋がるシステム提案
- 地域密着型営業体制の強化
- 「たのめーる」への注力
- 新規ビジネスへの取り組み

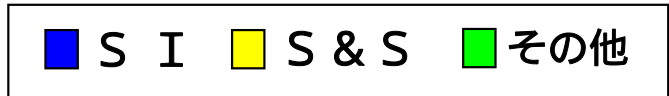
# 売上高の四半期推移



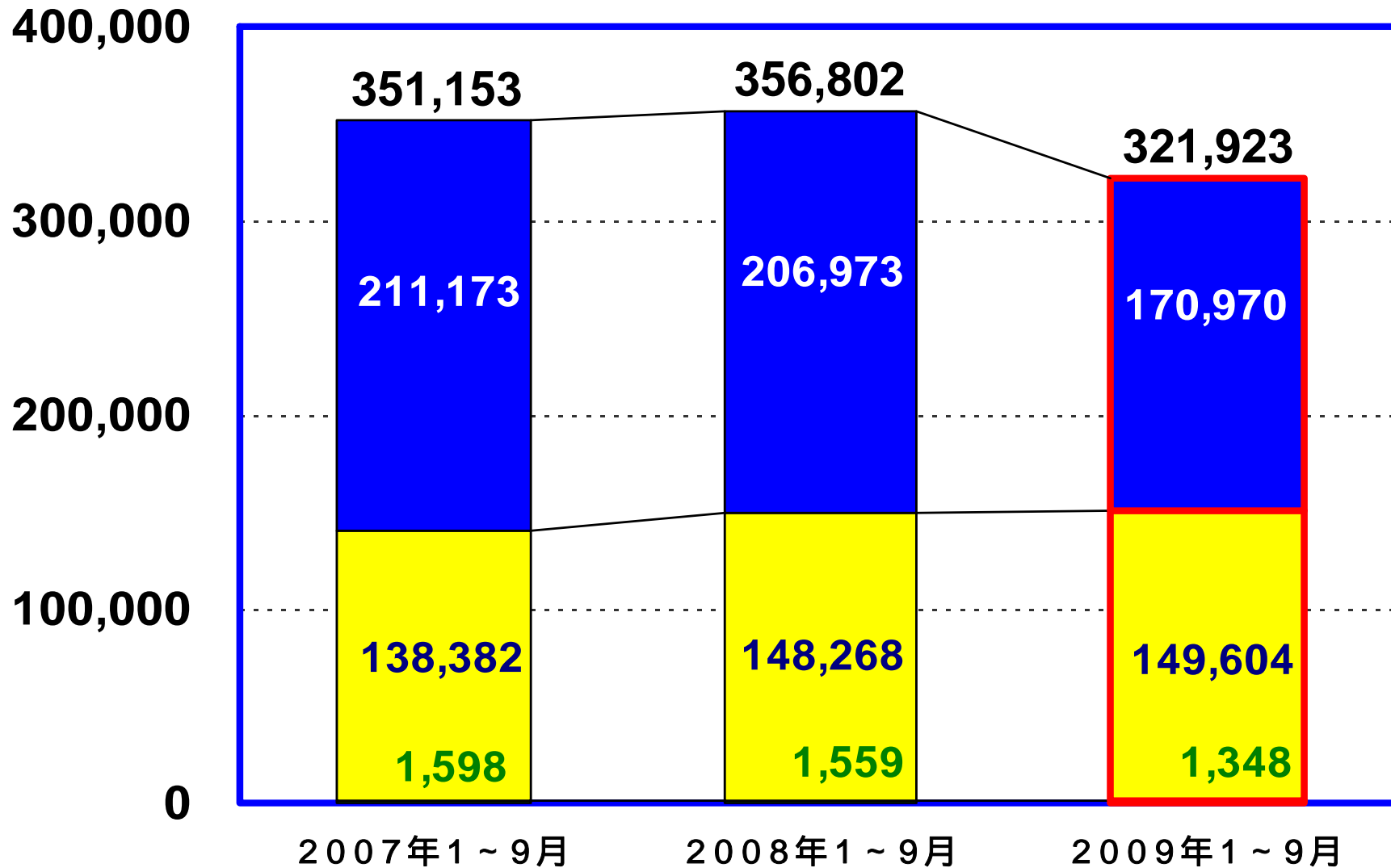
# 経常利益の四半期推移



# セグメント別売上高

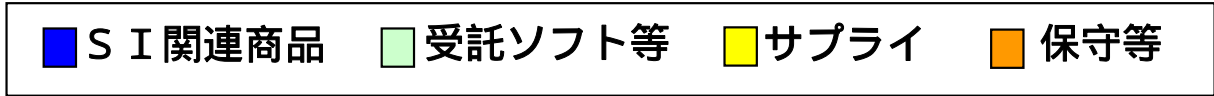


(単位：百万円)

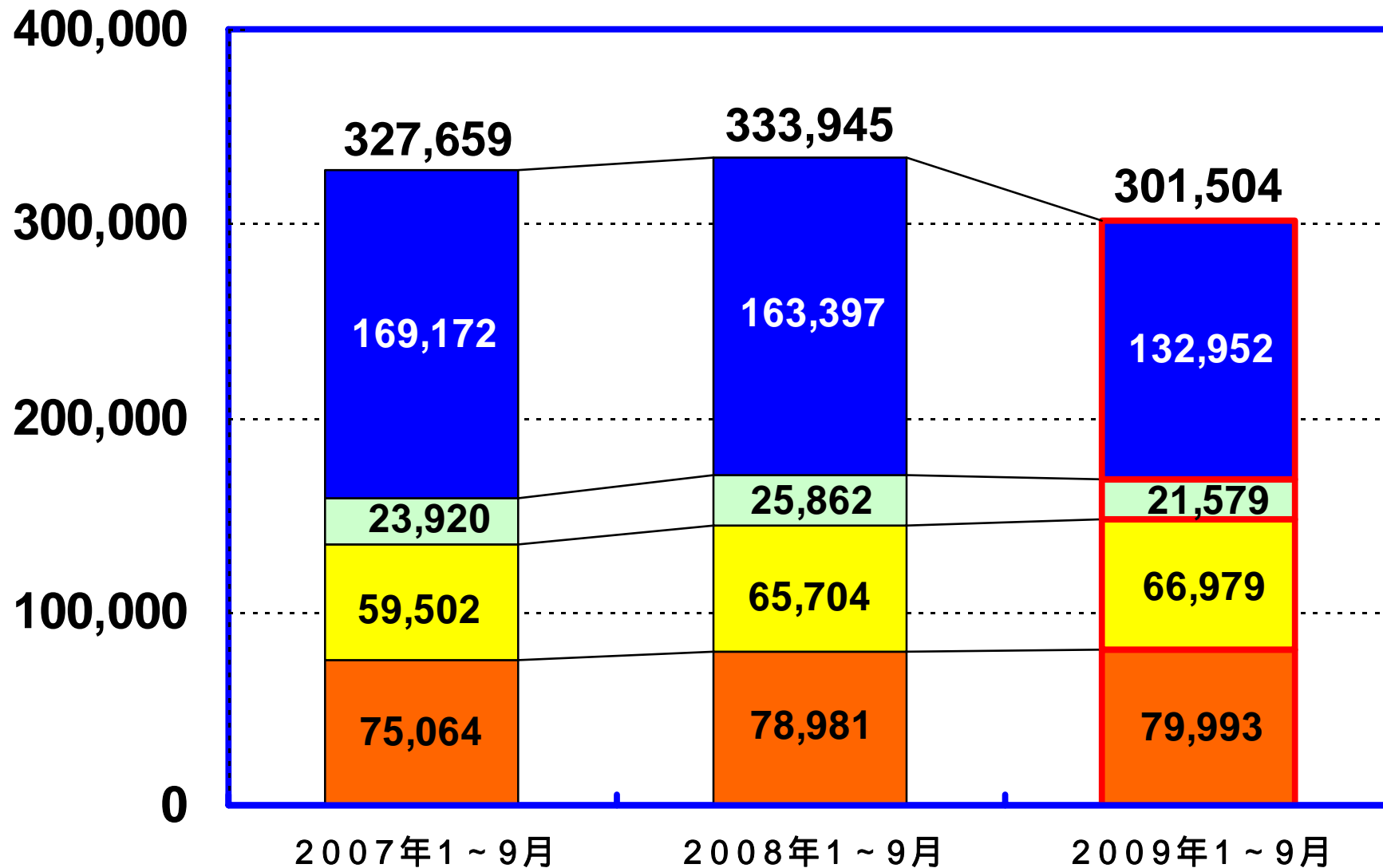




# 詳細セグメント別売上高

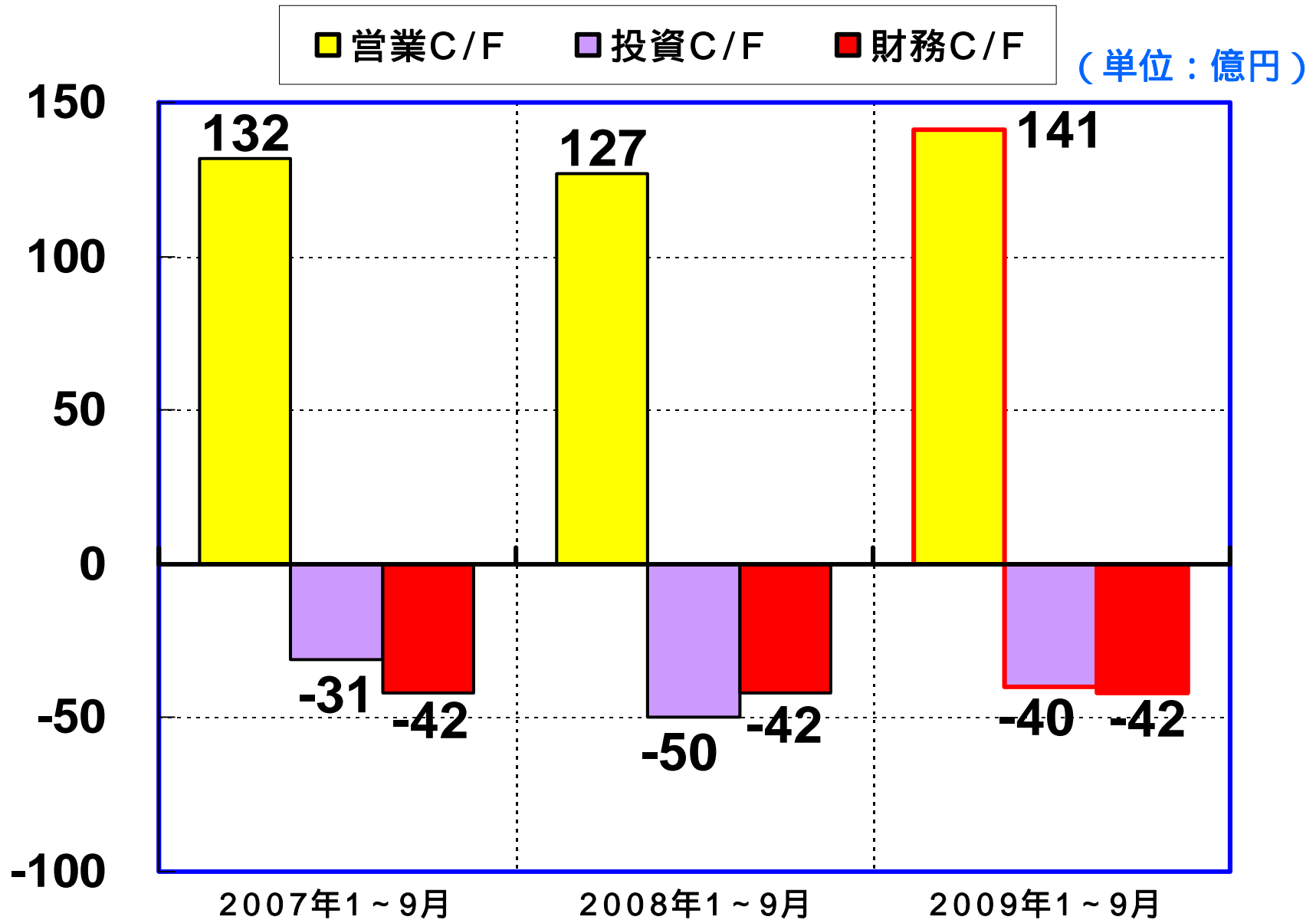


(単位：百万円)



連結

# キャッシュ・フロー

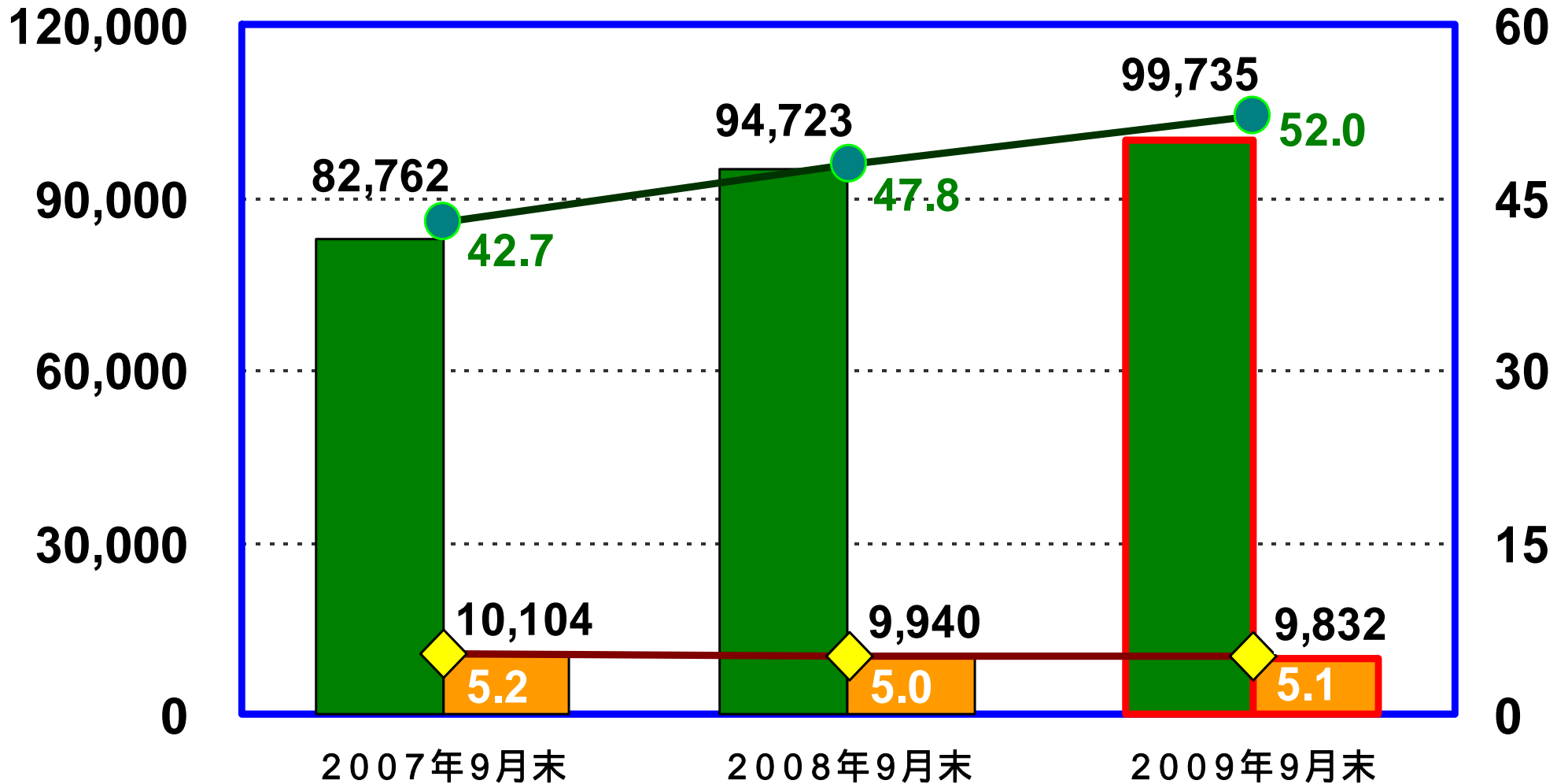


# 自己資本と有利子負債

(単位：百万円)

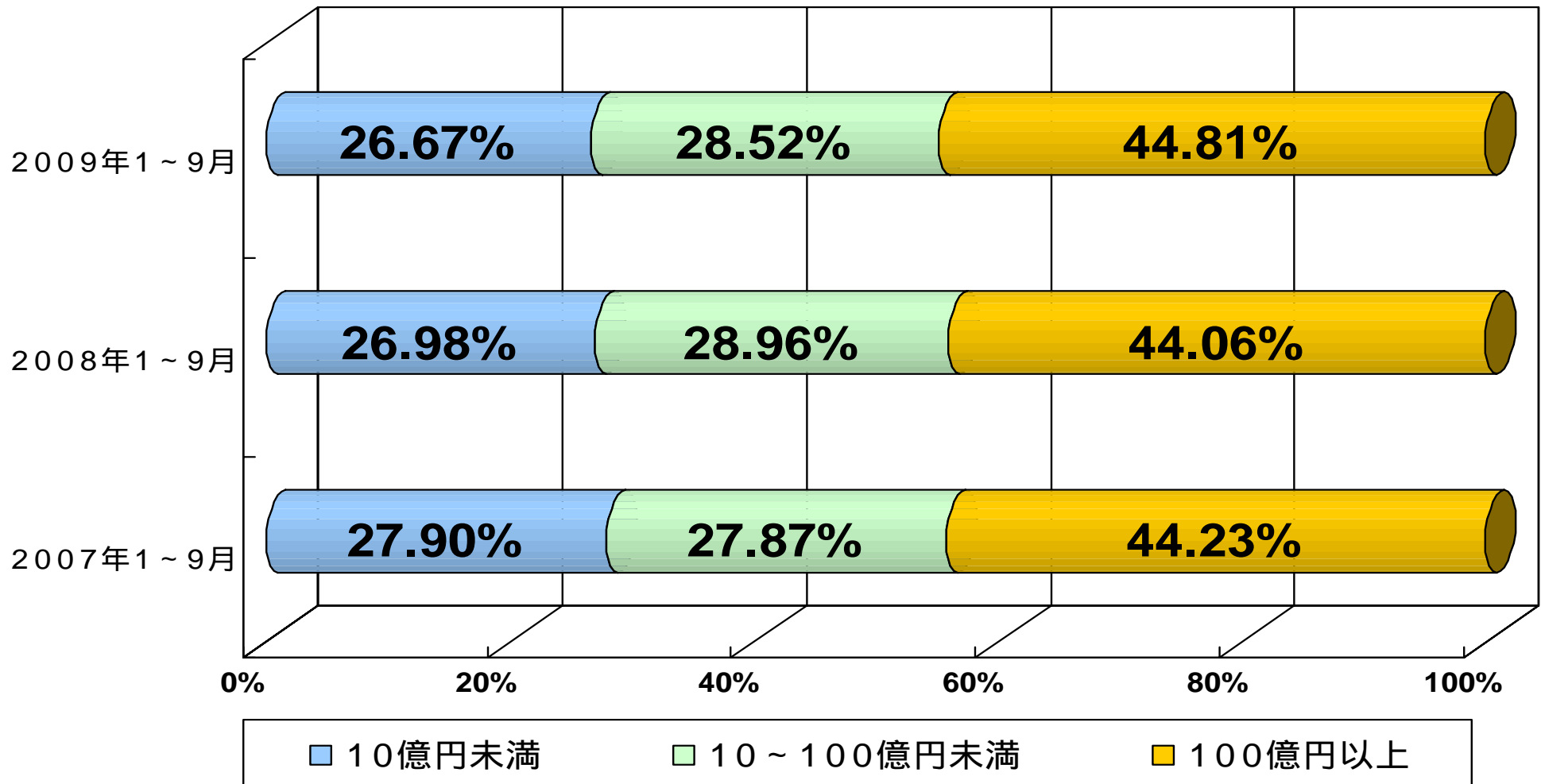


(単位：%)



単体

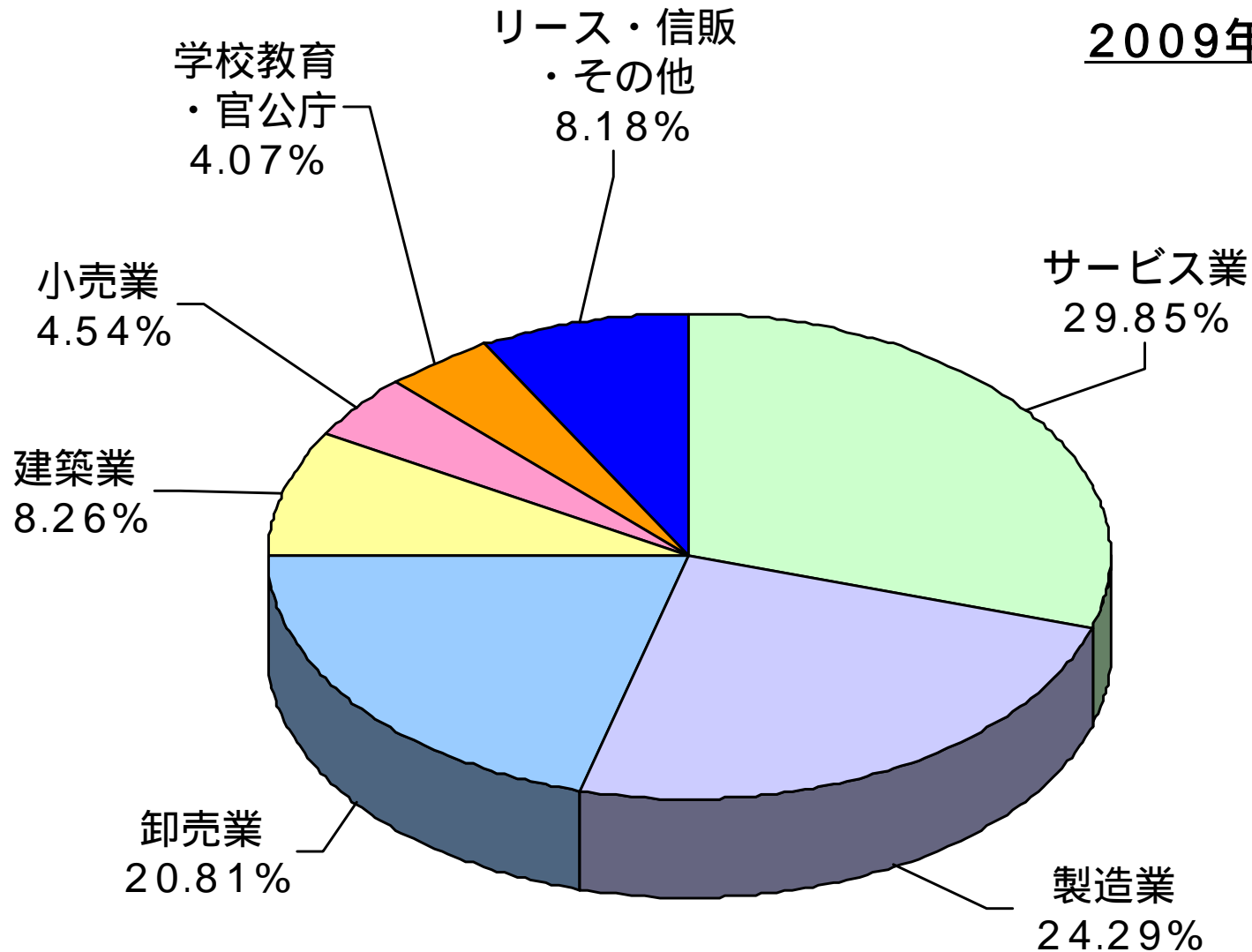
# 顧客企業の年商別売上構成



単体

# 顧客企業の業種別売上構成

2009年1～9月





# 重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2007年 1～9月	2008年 1～9月		2009年1～9月		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
MRO	63,151	68,791	+8.9%	<b>69,820</b>	<b>+1,029</b>	<b>+1.5%</b>
SMILE (ソフト)	5,097	4,992	-2.1%	<b>4,613</b>	<b>-378</b>	<b>-7.6%</b>
ODS 2 1	28,114	28,211	+0.3%	<b>24,543</b>	<b>-3,668</b>	<b>-13.0%</b>
OSM	29,306	32,870	+12.2%	<b>30,573</b>	<b>-2,297</b>	<b>-7.0%</b>

< 販売台数 >

(単位：台)

複写機	22,976	22,702	-1.2%	<b>18,802</b>	<b>-3,900</b>	<b>-17.2%</b>
(内カラー複写機)	15,143	15,706	+3.7%	<b>14,026</b>	<b>-1,680</b>	<b>-10.7%</b>
サーバ	26,880	25,423	-5.4%	<b>23,673</b>	<b>-1,750</b>	<b>-6.9%</b>
パソコン	353,929	389,326	+10.0%	<b>373,692</b>	<b>-15,634</b>	<b>-4.0%</b>

単体

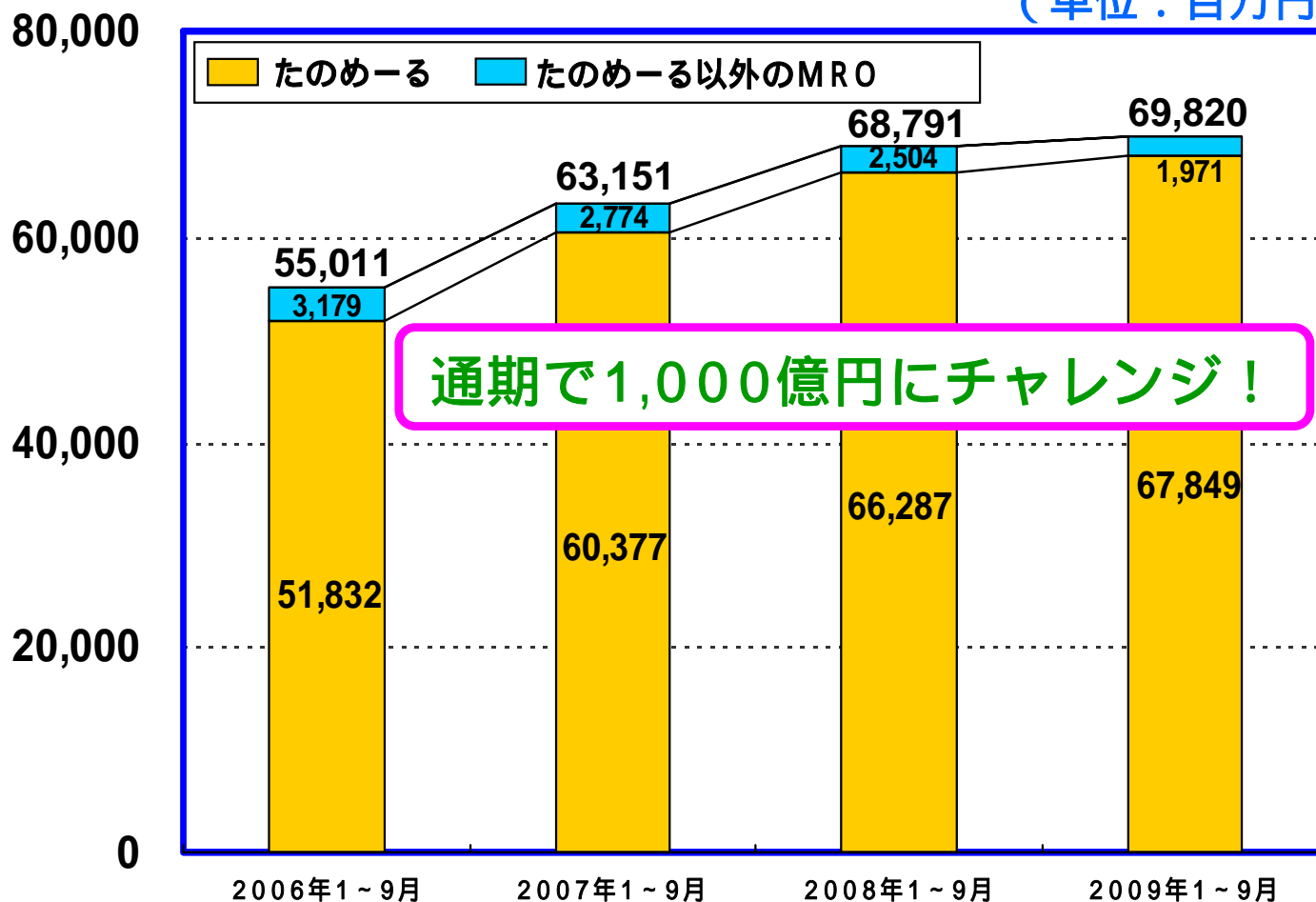
# MRO事業の売上高推移



## たのめーる 10周年キャンペーン実施中

ぱーそなるたのめーる 5周年キャンペーン実施中

(単位：百万円)



### 2009年1～9月 売上高前年増減率

MRO事業 1.5%増

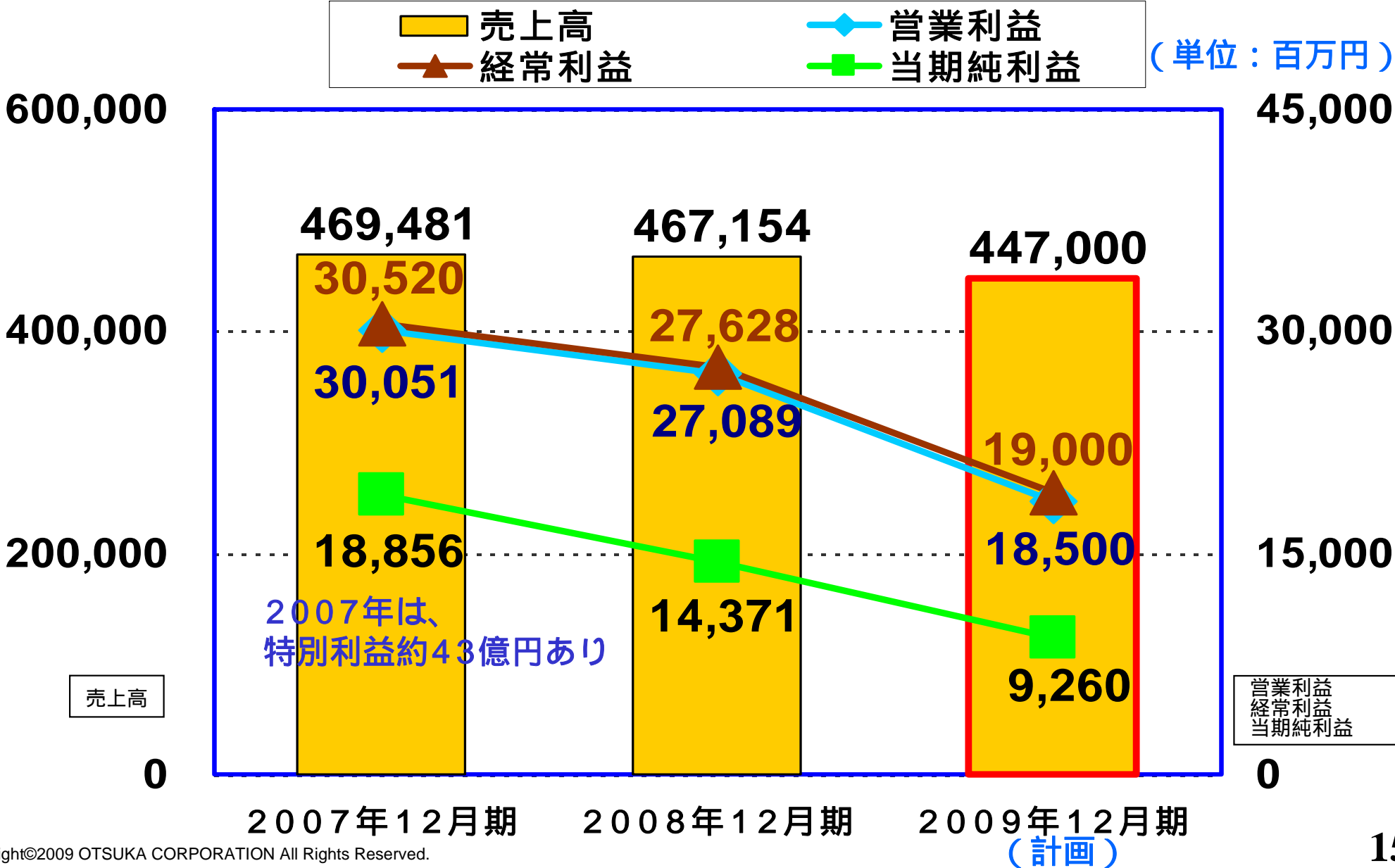
たのめーる 2.4%増

MRO内たのめーる比率  
97.2%

MRO事業  
698億円

たのめーる  
678億円

# 売上高・利益の計画





社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様  
取 引 先 様

従 業 員

# 本資料についてのご注意

- 1 . 本資料は、2009年12月期第3四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。